

MFJ 公認・承認競技会・講習会主催者の皆様

新型コロナウイルス感染防止対策に係わるお願い(令和4年9月7日版)

(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会
事務局長 隠岐 直廣

皆様におかれましては、「新型コロナウイルス感染防止に係わるお願い」にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今シーズンの競技会開催に向けたガイドラインを以下のように定めます。内容は前回(令和4年2月発行)と変更ありませんが、別紙の感染防止措置を改定致しました。

尚、感染状況に応じて、このガイドラインは変更となることをご承知ください。

主催者の皆様も競技開催について参考としていただければと存じます。

1 競技会開催に当たっての基本的な考え方

競技会の開催に当たっては、国の改正基本的対処方針、専門家会議提言、日本スポーツ協会の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」等を参考に以下のガイドラインに従い開催をすすめてください。

2 競技会開催のガイドライン

- ① 当該競技会が開催される都道府県の方針に従うことが大前提であり、人の移動やイベント開催について地域行政の方針をご確認ください。
- ② 会場における感染防止措置(参加募集時による啓蒙等)を講じること。(別紙参照)
- ③ 競技運営体制を確保できること。

状況は日々変化し規制の内容も段階的に変化しますので、現時点で上記ガイドラインを満たしていない場合でも開催日までに期間がある場合は規制が緩和される可能性もあり、開催予定として準備願います。

3 開催可否の決定時期

現時点で予定されている競技会についての開催可否の決定は状況を確認し、原則的に当該大会のエントリーが始まる前を目安にご判断いただくようお願いいたします。

4 選手権の成立

- 1) 全日本選手権
 - ① 3大会、3レース以上開催されなければ当該クラスの全日本ランキングは成立しない。
 - ② 1位の獲得ポイントが40ポイントに満たない場合はチャンピオンとせずランキング2位とする
※今後の状況で上記原則を満たされなかった場合は各種目委員会で審議し決定する。
- 2) 地方選手権
 - 3大会、3レース以上開催されなければ当該クラスの地方選手権ランキングは成立しない。
※今後の状況で上記原則を満たされなかった場合は各種目委員会で審議し決定する。

5 昇格基準

- 1) 全日本選手権
全日本選手権における昇格基準はランキング順位で決定する為、変更しない。
- 2) 地方選手権
昇格基準が定められている場合は、各選手権ごとに開催数・状況に応じて昇格基準を調整する場合があります。

(別紙)

競技会を開催する際の感染防止措置について

以下は(公財)日本スポーツ協会の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を参考にモーターサイクルスポーツ固有の環境に応じた項目を付加し作成いたしました。

競技会開催にあたっては以下を参考に感染防止対策にご協力をお願いいたします。

1) 参加募集時の対応

感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めることが必要です。また、これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、競技の参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを大会HP、大会特別規則、公式通知等で周知してください。

●公示内容

【参加者・関係者が遵守すべき事項】

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること
 - (ア) 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - (イ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (ウ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への又は当該在住者との濃厚接触がある場合
※期日は、国および地方により変更されます。
- ② マスクを持参すること(競技中以外は常にマスク着用)
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。
- ⑤ 大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑥ ピット・パドック・トランスポーター内で作業する場合は密閉状態にせず出来るだけ同時に滞在する人数を少なくすること。
- ⑦ 接触者を自チーム内に留めるため、他のチームエリアへの往来を控える。
(競技役員、レーシングサービス等、業務上複数チームのエリアへの立ち入りが必要な者はこの限りではない)
- ⑧ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑨ イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑩ 選手以外のチームスタッフ、関係者数は必要最小限とする。

2) 当日の参加受付時の留意事項

主催者は、大会当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に大会を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行うことが必要です。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること。(状況によっては、体温測定し入場を制限する)
- ③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。
- ⑥ クラスごとに受付や車検の時間を分ける等、密になることを避けること。

3) 参加者への対応

主催者は、大会当日に参加者(ライダーおよび登録されたピットクルー等)から以下の事項を記載した書面の提出を求めることが必要です。

※チェックリストはMFJで作成し選手の皆様が書式で提出したり、WEB上で入力できるよう準備しています。

●チェックリスト内容

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する。
- ② 当日の体温
- ③ 大会前2週間における以下の事項の有無
 - (ア) 平熱を超える発熱
 - (イ) 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - (ウ) だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - (エ) 嗅覚や味覚の異常
 - (オ) 体が重く感じる、疲れやすい等
 - (カ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - (キ) 新型コロナウイルス感染し、治療、退院から14日*以内である。または、有症状の中等症Ⅱ度以上（酸素吸入を必要とする）および人工呼吸を実施した重症の場合で、治療、退院後2ヶ月経過していない。
※期日は、国および地方自治体の指針により変更されます。
 - (ク) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (ケ) 過去14日*以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
※期日は、国および地方自治体の指針により変更されます。

4) 主催者が準備等すべき事項

(1) 手洗い場所

主催者は、参加者、関係者がイベント開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保することが必要です。

- ① 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
- ② 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること。
- ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意すること。
- ④ （参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること。）
- ⑤ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。

(2) 競技運営に関わる場所

- ① レースコントロールや車検場、ポストなど屋内では換気や密集を避け、マスク着用を徹底する。
- ② プリーフィング、オフィシャルミーティング等は屋内で行う場合は換気しクラスやセクションごとに分けて少人数で行うよう留意する。

5) 観客の管理

スポーツイベントに観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、対応をとることが求められます。また、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知することが必要です。

- ① ピットウォーク、観客向けステージ、サイン会等、密集するものは実施しないこと。
- ② 暫定表彰式は観客が密集するロケーションでは行わない。

6) 競技会参加前後の留意事項

競技会に参加するエントラント、運営スタッフ等全ての関係者は、イベントの前後のミーティングや懇親会、宿泊場所等においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用する、こまめな手洗いなどの感染対策に十分に配慮することが求められます。

7) ゴミの廃棄

鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を回着用することが求められます。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒することが必要です。